

基本的な考え方

テルモは「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、世界の医療現場から信頼される企業を目指し、「テルモグループ行動規範」に則った企業活動を行っています。この「テルモグループ行動規範」に基づき、調達する物品やサービスの品質と安定供給を追求するとともに、高い倫理観を持って公正な取引を行うことを基本的な考え方としています。この「テルモグループ行動規範」には、サプライヤーの皆さまを含むビジネスパートナーとの関わり方や、社会的責任を担う企業活動の一環としてサプライヤーの皆さまへ期待する事項なども示されています。この実現を確かなものにするため、テルモの調達活動における基本姿勢を示した「テルモグループ調達方針」ならびにサプライヤーの皆さまに求める指針である「サプライヤーガイドライン」を制定し、これに基づく調達活動を行っています。

テルモグループ調達方針では、「品質・安全」「安定調達」「コンプライアンスの推進」「公正な調達」「人権・環境への配慮」、そして「サプライヤーとの信頼関係に基づく相互繁栄」という6つの項目を掲げています。この方針に則り、サプライヤーの皆さまに守っていただきたい内容を「サプライヤーガイドライン」として制定し、テルモと取引を行うサプライヤーの皆さまにこのガイドラインの遵守をお願いしています。



「テルモグループ調達方針」「サプライヤーガイドライン」
<https://www.terumo.co.jp/about/procurement/>

推進体制

調達部が中心となり、調達に関わる規程・運用を整備し、社会の要請や期待も踏まえながら責任ある調達を推進しています。テ

ルモの調達では、サプライヤーの皆さまと協調し、サプライチェーンを通じて社会的責任を果たすことが重要であると考えています。新たにサプライヤーを選定する場合は、サプライヤーガイドラインを提示し、社会的責任に基づく活動への理解と、同意確認書への署名を求め、選定前の要件としています。国内のサプライヤーを対象にサプライヤーガイドラインへの同意確認を実施し、2021年3月末時点で直接材545社と間接材822社のサプライヤーより同意いただきました。2021年度より、日本国内のサプライヤーのみならず、欧米アジアのサプライヤーに対しても、欧米アジア関連会社からサプライヤーガイドラインへの同意取得を進めているほか、新規の取引先やカントリーリスクの高い取引先を対象に、人権やEHSに関する内容を含むSAQ (Self-Assessment Questionnaire) をもとにサプライヤー監査を進めています。

生産用の原材料・資材の調達においては、国内外の調達部門が品質マネジメントシステム(QMS)に基づいたサプライヤー管理等を行っており、調達部は各部門と連携し、品質、価格、安定供給等を考慮しながら、全社を通じて最適な購買を推進しています。

調達における安定供給体制の整備

テルモでは、品質と安定供給の確保を第一として、最適地購買に取り組んでいます。テルモの安定供給における基本ポリシー「医療を止めない」に基づき、東日本大震災、熊本地震、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)などでの経験も踏まえて、事業・製品に応じて供給に係るリスクを評価し、お取引先にご理解・ご協力いただきながら、購買先の複数化や適正在庫の確保など、安定供給体制の構築に取り組んでいます。

調達におけるEHS*の取り組み

テルモの事業活動は、多くのお取引先とともに成り立っています。テルモは、バリューチェーン全体でEHSに取り組み、サプライチェーンにおけるEHS上のリスクを低減することにより、製品の安定供給に努めています。また、原材料輸送において共同配送によりトラック便を削減するなど、調達においてもCO₂排出量削減に努め、環境負荷低減を図っています。

* Environment, Health and Safetyの略。

紛争鉱物への対応

「サプライヤーガイドライン」の「人権への配慮」の項目において、サプライヤーの皆さまに対し、人権侵害や環境破壊に加担しないため、不法に産出されたスズ、タンタル、タングステン、金を含む原材料、部品、製品などの調達および使用をしないことを求めています。また、新規の原材料選定時には、サプライヤーの皆さまにこれらの鉱物の含有有無をご回答いただくよう、協力をお願いしています。

購買に関するコンプライアンス

購買においてはサプライヤーとの公平・公正な関係のもと、関連法令を遵守し、透明性を確保した取引を進める必要があります。テルモでは、購買に関するコンプライアンスの徹底のため、購買規程により購買プロセスを整備して、利益相反の禁止、下請法などの法令遵守、サプライヤー適格性審査登録をルール化し、規程に則り公正な取引を進めています。また、責任ある調達の推進のため、新規のサプライヤーとのお取引の開始にあたっては反社会的勢力排除の契約締結を行っているほか、サプライヤーへ向けた行動規範である「サプライヤーガイドライン」の趣旨に賛同いただけない場合は取引を行わないこととしています。

■ サプライヤー・ダイバーシティ

テルモグループは、多様性のある供給基盤を持つことで、独自性のある技術、知識、創造性および才能を活用した調達活動が実施できるようになり、それが当社および事業を行う地域社会の利益につながると考えています。また、多様性のあるサプライヤーベースが経済成長に貢献することを認識しています。「テルモグループ調達方針」では、不当な理由で特定のサプライヤーを選定・排除しないことを明示しており、将来の取引において、全てのサプライヤーに公平・公正な取引機会を提供し、品質、サービス、コスト、価値、技術の面で最も有能なサプライヤーを求めていきます。

テルモアメリカスホールディング社（TAH）では、マイノリティ、女性、障がい者、LGBT、退役軍人、傷痍退役軍人による企業、歴史的に低開発地域、小規模企業との関係構築に取り組んでおり、全米マイノリティサプライヤー育成評議会（The National Minority Supplier Development Council）および全米女性経営者企業評議会（The Women's Business Enterprise National Council）に加盟しています。TAHの調達チームは、これらの評議会の地域パートナーと協力し、地域の中小企業、小規模企業や多様性のある企業を特定しています。サプライヤーの多様化への取り組みを促進するために、これらの評議会が主催する会議にも参加する予定です。

テルモグループは、多様なソリューションを提供することで組織的価値を高めるサプライヤーの皆さまとの連携を重視し、企業理念「医療を通じて社会に貢献する」の実現に継続的に取り組んでいきます。